

## ネットワーク外医療給付に関する重要なお知らせ

UnitedHealth Group, Incorporated の系列会社によって運営または保険提供が行われている医療保険プランの中には、メンバーに「ネットワーク外」の診療および外科処置に対する給付が提供されるものがあります。プランにネットワーク外医療給付が含まれている場合、メンバーは UnitedHealthcare ネットワーク外の医師や医療提供者を利用することができます。提供された医療サービスに対する給付金の支払い申請は、メンバーまたは医療提供者(メンバーが医療提供者に請求権を譲渡している場合)が UnitedHealth Group 系列会社に対して行います。請求を受けた UnitedHealth Group 系列会社は、メンバーの医療プランの規定に基づき給付金を支払います。通常は、以下のうちいずれか低い方の金額が支払われます。

- ネットワーク外のプロバイダーがメンバーに実際に請求した金額
- 「適正で一般的な料金」、「通常の一般的かつ適正な料金」、「実勢料金」等と呼ばれる、同じ地域の他の医療提供者が同じ医療サービスに課している料金に基づいて定められた金額

### 上記の料金は、具体的にはどのような料金を意味するのですか？

「適正で一般的な料金」、「通常の一般的かつ適正な料金」、「実勢料金」とは、医療保険プランが、ネットワーク外医療給付を支払う際に、様々な情報源を参照することによって決定し使用する基準です。このような情報源には、医療サービスや医療品の料金や費用に関する情報が含まれます。医療サービスに対する給付支払いの際

に参照される情報は、該当地域ないし区域の他の医療提供者が同種の医療サービスに課している料金を基にしています。該当地域ないし区域とは、その医療サービスが提供された場所が含まれる、1つまたは複数の3桁の郵便番号(「Geozip」とも呼ばれ、下記に詳しく説明します。)に該当する地域をいいます。

ただし、これらの料金基準は、メディケア料金のみを基準に償還額を決定するプランには適用されません。さらに、UnitedHealth Group 系列会社は、このような基準を総合病院や外来外科センターのような施設で提供されたサービスに適用する際や、医薬品償還額を決定する際(詳細は下記に説明します。)には、異なる情報源を使用しています。また、メンバーの医療保険プランによっては、これらの基準の定義が異なっていたり、追加基準が含まれていることもあり、給付額は、最終的にはメンバーの医療保険プランの規定やプランによるその規定の解釈に基づいて決定されます。そのため、メンバーが自分のネットワーク外医療給付の償還額がどのくらいになるかを知るためには、加入している医療保険プランの内容を常に確認する必要があります。

### **メンバーである私にとって、どのように影響しますか？**

お客様が加入されている医療保険プランに、医療提供者や医療プロバイダーから提供され請求を受けた診療または外科処置に関する前述の「適正で一般的な料金」または同様の料金に基づく支払い規定がある場合、UnitedHealth Group 系列会社は、通常、UnitedHealth Group の完全所有子会社である Ingenix, Inc.が作成した料金一覧表を参照して最高支払い額を決定します。Ingenix は、実勢診療報酬体系データベース(「PHCS データベース」)および医療データ調査データベース(「MDR データベース」)という2種類のデータベースを発行

しています。この2つのデータベース中の情報は、Ingenixによって毎年定期的に更新され発行されます。「適正で一般的な料金」または他の同様な基準に基づいて医療保険プランを運営している UnitedHealth Group 系列会社は、いずれかのデータベースの診療モジュールまたは外科モジュールを使用して、診療および外科サービスに対する診療料金の償還額を決定します。UnitedHealth Group 系列会社がこれらのデータベースの診療モジュールおよび外科モジュールの料金一覧表に基づいて算出するメンバーへの最高支払い額は、プロバイダーから受けたサービスに対して実際に請求された金額よりも少なくなる場合があります。その場合、プロバイダーからの請求金額と UnitedHealth Group 系列会社からの給付額の差額は、メンバーの「自己負担額」として、メンバーご自身からそのネットワーク外のプロバイダーにお支払いいただくこととなります。

### **Ingenix の料金一覧表はどのように作成され、給付の支払いにはどのように使用されるのですか？**

PHCS データベースは、民間医療サービスについては、医療提供者による実際の診療ごとの請求料金を用いるように設計されていますが、十分な情報が利用できない場合は、以下に説明するように、推定料金と相対値を用いた算出方法によって料金を提示します。

Ingenix は、プエルトリコとバージン諸島を含む全米の保険会社および医療保険プラン運営会社から情報を収集しています。Ingenix は、これらの情報提供者に対し、医療提供者が請求した実際の診療ごとの料金のみを提出するように求めています。情報を提供する保険会社等は、提供した請求情報のうち Ingenix が受け入れ使用している情報の割合に応じ、PHCS または MDR データベース使用料の割引を受けるようになっています。

Ingenix は、保険会社等から請求料金の情報を収集した後、情報を審査してから PHCS または MDR データベースの作成に使用します。審査過程では、(i) 古い情報、(ii) 不完全な情報(処置コード、郵便番号、請求金額等の記載漏れ)、(iii) 無効な郵便番号や処置コードが含まれる情報、(iv) Ingenix が高低の限界を設定した料金の範囲に入らない「外れ値」とみなされる情報が除外されます。

PHCS データベースは CPT コードと呼ばれる医療処置コードおよび地域(Geozip)別に整理されており、Ingenix の所定のプロセスにより算出された金額を提示します。Ingenix が PHCS データベースの作成に使用した実際の請求料金が 9 例以上ある CPT コードと Geozip の組み合わせについては、データベースはそれらの請求料金を 50、60、70、75、80、85、90、95 の各パーセンタイルで提示します。例えば、90 パーセンタイルと提示されている金額は、その CPT コードと Geozip の組み合わせについて、Ingenix が PHCS データベースの作成に使用した請求料金の金額の 90%以上に相当します。

UnitedHealth Group 系列会社は通常、PHCS データベースが提示する 80 パーセンタイルの料金を基準に用いていますが、プラン提供会社によっては、別のパーセンタイル値を自社プランの基準として選択し使用しているところもあります。CPT コードと Geozip の組み合わせについて情報提供者から収集され PHCS データベースに収録されている実際の請求金額が 9 例に満たない場合、データベースは「推定料金」をパーセンタイル表に提示します。Ingenix は、該当する地域の類似サービスに対する請求料金のデータを集めて推定料金を計算します。請求料金情報は、「相対値」(医療処置の難度とその費用の査定に基づいて医療処置コードに割り当てられた数値のこと)を用いて標準化されています。相対値は、処置の難易度と費用が高ければ高いほど高くなり、低ければ低いほど低くなります。Ingenix

が PHCS データベースで使用している相対値は、Relative Value Studies Incorporated (<http://www.rvsdata.com/about.html>)という、UnitedHealth と Ingenix とも系列関係にない会社から実施許諾を受けて使用しているものです。

MDR データベースは、すべて推定料金で構成されています。Ingenix は、MDR データベースの作成には自社が占有権を所有する相対値を使用しており、MDR データベースで使用している推定料金算出方法は、PHCS データベースで使用されるものと似てはいますが別のものです。

PHCS と MDR の 2 つのデータベースの診療および外科モジュールには、現在 400 以上の Geozip にわたる 8,000 以上の異なるコードが記載された表が収録されています。データベースの各バージョンには、各モジュールの発行日の 3 ヶ月から 15 ヶ月前の 12 ヶ月の期間枠内(発行日に応じて移動)の日を提供日とする医療サービスのデータが用いられています。

2 つのデータベースで使用されているサービスコードと処置コードは、米国医師会(以下「AMA」)により策定され維持管理されている「医師診療行為用語用語」(以下「CPT」)コード体系、または、メディケア/メディケイド・サービスセンター(以下「CMS」)により策定され維持管理されている「一般医療処置コード体系」(以下「HCPCS」)のいずれかに基づくものです。各データベースは、通常相互に関連する異なるコードが記載された様々な表の集合である「モジュール」に分かれています。(例えば、PHCS データベースの中には診療サービス・モジュールと外科サービス・モジュールなどがあります。)PHCS データベースには合計 8 種類のモジュールがあり、MDR データベースには 9 種類のモジュールが存在します。

UnitedHealth 系列会社は、医療提供者または医療プロバイダー・グループから提供され請求された医療サービスに対し、前述の「適正で一般的な料金」または他の同様な基準料金に基づく償還額を決定する際に、現在、PHCS データベースの診療モジュールと外科モジュールのみを使用しています。

Geozip は、データベースの表中での総括と提示がしやすいように、特定の CPT コードに関する請求を同様の地域ごとに分類するために使用されています。Geozip には、米国の郵便番号の最初の 3 桁が使用されており、3 桁の郵便番号で表される地域 1 つか、または 2 つ以上を組み合わせたもののいずれかになっています。1 つの Geozip に 3 桁の郵便番号地域を 1 つ含めるか複数含めるかは、(i) PHCS の各バージョンに提出された請求料金データの解析結果、(ii) 使用可能なデータの量、(iii) 各 Geozip を構成する郵便番号地域に関する地理的類似性といった要素に基づいて決定されます。特定の Geozip に統合される郵便番号地域は年ごとに変わります。

以下は、PHCS パーセンタイル表の一例です。

CPT コード	名称	50	60	70	75	80	85	90	95
45378	結腸鏡検査	\$764	\$783	\$859	\$887	\$907	\$939	\$1008	\$1105
71050	放射線検査(2方向撮影)	\$102	\$103	\$106	\$107	\$107	\$107	\$113	\$122
99211	医師の診察、診断および医療管理、 非常に軽い病状	\$62	\$70	\$75	\$80	\$85	\$85	\$100	\$100

## 既存システムに替わる新データベース

ニューヨーク州司法長官(以下「NYAG」)は、PHCS および MDR データベースの所有と使用における利益相反と、データベース料金の公正性に関する調査を開始しました。UnitedHealth Group と NYAG 間の 2009 年 1 月の和解契約により、PHCS および MDR データベースは廃止され、新たな独立データベース(以下「新データベース」)が設置されることになっています。新データベースは、NYAG により選択された非営利組織である FAIR Health, Inc. が所有・運営をすることとなります。FAIR Health に関する情報は、NYAG のウェブサイト、[www.oag.state.ny.us](http://www.oag.state.ny.us) に掲載されています。

新データベースの稼動開始後は、FAIR Health が、調査目的および医療保険会社がネットワーク外給付支払い額の算定に利用するツールとしてデータベースを提供する予定です。新データベースが利用可能となるまで、Ingenix は PHCS と MDR の 2 つのデータベースの作成・発行を継続し、UnitedHealth Group 系列会社が管理する医療保険プランも、前述の「適正で一般的な料金」または同様の基準によりネットワーク外医療に対する償還額を決定する際に、引き続きいずれかのデータベースを使用します。

## 重要な除外事項

お客様の医療保険プランに「適正で一般的な料金」、「通常的一般かつ適正な金額」、「実勢料金」または同様の基準に基づく支払い規定がない場合、ネットワーク外の診療および外科サービスに対する給付額の決定には PHCS データベース、MDR データベース、新データベースのいずれも使用されません。例えば、お客様のプランがメディケア料金のみを基準に給付の支払いを行っている場合に

は、UnitedHealth Group と NYAG 間の和解契約はお客様のプランに影響しません。

## 償還方針

ネットワーク外医療給付の支払い額の決定に PHCS または MDR データベースを使用しているか否かにかかわらず、いずれの UnitedHealth Group 系列会社も、ネットワーク外給付およびメンバーの自己負担額に影響を与え得る特定の支払い方針を適用しています。例えば、同じ日に同一の医療提供者から複数の処置を受けた場合には、複数処置に関する方針が適用されます。この方針によれば、一次的処置または主要処置に対する補償率は許容限度額の 100% となり、二次的処置に対する補償率は許容限度額の 50% となります。それ以降の処置に対する補償は、許容限度額の 25% または 50% で、加入している医療保険プランにより異なります。この方針は、一次的処置の際に行われる診療サービスや外科サービスに含まれる処置前後の作業や標準的な医療サービスに不可欠な一般的サービス(術前、術中、術後の記録書類作成等)が、追加処置の際に再び重複して行われることはないという実状を反映したものです。複数処置に関する方針およびその他の支払いに関する方針の詳細については、下記のウェブサイトでご確認ください。

<https://www.unitedhealthcareonline.com/b2c/CmaAction.do?channelId=0e22f2ccadd1c010VgnVCM100000c520720a>

## 医師により投与された医薬品

UnitedHealth 系列会社は、医療提供者あるいは医療プロバイダー・グループから投与され請求された医薬品については、その医薬品がメンバーの医療保険プランの補償対象である場合、給付請求に対する償還処理の目的上、医療サービスまたは医療品とみなします。

UnitedHealth Group 系列会社では、通常、そのような医薬品の平均卸売価格(以下「AWP」)を、前述の「適正で一般的な料金」または同様の基準など、プランが採用している基準を満たす金額であるとみなし、そのような医薬品に対するネットワーク外償還額を AWP に基づいて決定します。

UnitedHealth Group 系列会社が給付額決定の際に考慮する AWP 価格は、米国食品医薬品局(FDA)により製造販売が認可されているほぼすべての医薬品を網羅した包括的データベースから提供されるものです。このデータベースは、独立ベンダーである Thomson Reuters が作成し維持管理しているものであり、1,200 社以上の製薬会社と販売業者からデータを収集しています。

UnitedHealth Group 系列会社が、医療提供者や医療プロバイダー・グループから投与され請求された医薬品に対する償還額を決定する際に AWP を参照する理由はいくつかあります。AWP は、薬剤費補償の業界基準であり、医療提供者、政府、マネージドケア企業からそのような医薬品に対する適切な償還額として広く受け入れられています。さらに、政府の調査により、AWP 価格を基準とする償還価格は、通常、医療提供者が医薬品の対価として支払った実際の金額を大幅に上回ることが判明しています。そして、医療提供者がこれらの医薬品の対価として支払う金額には、医療サービス料金ほど地

域差がないため、これらの医薬品の償還に全国基準を用いることの妥当性は高く、上記のプラン採用基準との整合性も高くなります。

## 用語集

**許容限度額** – このお知らせの記載内容が適用される条件で使用される場合に、ネットワーク外給付請求に対して償還が認められる金額です。許容限度額の決定基準は医療保険プランによって異なり、このお知らせの冒頭部分でご説明したように、プロバイダーの請求金額または「適正で一般的な料金」のいずれか低い方を基準とする場合があります(メンバーの医療保険プランの規定による)。この金額は、メンバーの自己負担分や免責金額が差し引かれることがあるため、メンバーまたはプロバイダーに最終的に支払われる金額とは異なる場合があります。

**プロバイダー・ネットワーク** – 契約条件に従い、当社保険のメンバーに対して医療を提供することに同意した医師およびその他の医療提供者。

**ネットワーク外医療給付** – UnitedHealth Group 系列会社と契約を締結していない医師およびその他の医療提供者によって提供されるサービスまたは医療品に対する給付プランによる補償。

**自己負担額** – プランのメンバーに支払い義務のある医療サービス費用の一部で、これには、ネットワーク外のプロバイダーの請求金額と UnitedHealth Group 系列会社はそのサービスに対して支払う給付額との差額も含まれます。

### **実勢診療報酬体系データベース(「PHCS データベース」) –**

UnitedHealth Group の完全所有子会社である Ingenix, Inc.が作成した二種類のプロバイダー料金情報データベースのうちの1つ

### **MDR データベース – UnitedHealth Group の完全子会社である**

Ingenix, Inc.の完全所有子会社である Ingenix, Inc.が作成した二種類のプロバイダー料金情報データベースのうちの1つ

**CPT コード** – 医師やその他の医療提供者によって行われたサービスおよび処置のコードとその名称。それぞれのサービスや処置は、5桁の数字から成る固有のコードにより識別されています。医師およびその他の医療提供者は、CPT コードを使用して支払い請求を行います。CPT コードは、米国医師会(American Medical Association)によって維持管理されています。

### **Ingenix – UnitedHealth Group (NYSE: UNH)の完全所有子会社**

**UnitedHealth Group** – UnitedHealth Group (NYSE: UNH)は、ヘルスケアの向上に尽力している総合医療・保健企業です。ミネソタ州ミネアポリスに本社を有し、UnitedHealthcare、Ovations、AmeriChoice、OptumHealth、Ingenix、Prescription Solutions の6つの運営会社を通して、幅広いプロダクトやサービスを提供しています。UnitedHealth Group は、これらの系列会社を通じて、全米で7千万人以上のメンバーにサービスを提供しています。

**新データベース** – ニューヨーク州司法長官が選択した非営利組織である FAIR Health, Inc. が所有・開発・運営する新しい独立データベース。

**ニューヨーク州司法長官** – 調査および和解合意当時のニューヨーク州司法長官は、現州知事のアンドリュー・M・クオモ氏が務めていました。詳細は [www.oag.state.ny.us](http://www.oag.state.ny.us) でご確認ください。